



新規受託項目

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。
 平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。
 この度、下記項目につきまして検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白

記

● 項目名

- 胃がんリスク層別化検査ABC分類 【 検査項目コード 12891 】

受託開始日 2017年4月1日(土) 受付分より

本検査は、2014年12月および2015年6月に発信された日本ヘリコバクター学会の注意喚起(※1)を受けて検討された、胃がんリスク層別化検査運用研究会監修「運用の手引き」(※2)の掲載内容に基づくものです。

ABC分類に分類におけるH、ピロリ抗体検査の判定基準を10.0U/mLから3.0U/mLといたします。

(※1) 2015年6月30日の日本ヘリコバクター学会の注意喚起では、「H、ピロリ抗体が陰性であっても低値でない場合、胃がんリスクがない(A群)と判定しないでください。」とされています。

(※2) 新しいABC分類胃がんリスク層別化検査(ABC分類)2016年度改訂版 運用の手引き

監修：胃がんリスク層別化検査運用研究会

発行：認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構

【参考URL】<http://www.gastro-health-now.org>

- 当該検査の受託開始に伴い、現行の胃の健康度ABC分類(依頼コード No.9194)は、2017年3月30日(木) 受付分をもちまして検査受託を中止させていただきます。

裏面につづきます



より正確に！
 より迅速に！
 地域に密着した検査体制

登録衛生検査所
 一般社団法人
 岐阜市医師会臨床検査センター
 電話 058-255-1040

新			ご参考：現行コード内容	
検査項目コード	セットコード	胃がんリスク層別ABC	12891	9194
	セット内訳	胃のABC分類	12893	3977
		H.ピロリ抗体/EIA	12895	3978
		判定	21991	3979
		抗体濃度	21992	3980
		ペプシノゲン/LA	12896	3981
		判定	21993	3982
		ペプシノゲンI	21994	3996
		ペプシノゲンII	21995	4011
		ペプシノゲンI/II比	21996	4125
E判定対応コード	Hピロリ除菌歴有	12897	—	
検査項目名	胃がんリスク層別化検査ABC分類		胃の健康度ABC分類	
統一コード	3B346-0000-023-920		(同左)	
検査材料	血清		(同左)	
検体必要量	1.1mL		(同左)	
容器	1 → S-1		(同左)	
検体の保存方法	冷蔵		(同左)	
所要日数	4 ~ 5		(同左)	
検査方法	H.ピロリ抗体：EIA法 ペプシノゲン：ラテックス凝集法		(同左)	
陽性判定基準	H.ピロリ抗体：(+) 3.0U/mL以上 ペプシノゲン：(+) PGI値が70.0ng/mL以下かつ PGI/II比が3.0以下		ABC H.ピロリ抗体： (+) 10.0U/mL以上 ABC ペプシノゲン： (+) PGI値が70.0ng/mL以下かつ PGI/II比が3.0以下	
報告単位	H.ピロリ抗体：U/mL ペプシノゲン：ng/mL PGI/II比の単位はなし		(同左)	
報告範囲	H.ピロリ抗体：3.0未満～100以上 ペプシノゲン：PGI 0.1以下～最終値 PGII 0.1以下～最終値 PGI/II比 0.1～最終値		(同左)	
報告桁数	H.ピロリ抗体：小数第1位 ペプシノゲン：小数第1位 PGI/II比：小数第1位		(同左)	
検査実施料/判断料	なし		(同左)	
検査試薬名	H.ピロリ抗体：Eプレート'栄研' H.ピロリ抗体II ペプシノゲン：オートペプシノーゲンI(II) BML-2G		(同左)	
試薬製造販売元	H.ピロリ抗体：栄研化学株式会社 ペプシノゲン：株式会社ビー・エム・エル		(同左)	

依頼上の注意点について

- 除菌歴のある方は、12891(胃がんリスク層別化検査ABC分類)と12897(Hピロリ除菌歴有)の2つの依頼コードを同時に依頼ください。測定結果とともに判定Eを報告いたします。
- セット内の項目コード(単独、複数の組み合わせ含む)だけではご依頼できません。
- E判定対応コードのみではご依頼できません。

ABC分類検査チャートについて

- 2017年4月3日(月)出力分より、検査名称を「胃がんリスク層別化検査ABC分類」とし、H.ピロリ抗体とペプシノゲンの検査試薬名及び検査方法を併記して報告させていただきます。
- 各群のコメントを改訂いたします。

新検査チャート(見本)

胃がんリスク層別化検査(胃の健康度) ABC分類 チャート

000-00 03835-00 見本病院
 受付No. 001-0001 受付日 '16年 12月 10日
 採取日 '16年 12月 10日 氏名 テストケンタイ 性別 男性
 報告日 '16年 12月 12日 年齢 53歳 科名 内科 外来
 担当 TANTO-123456789 先生 病棟 BYOTO-123456789 ABC検診

検査項目	測定結果	判定	ABC分類
H.ピロリ抗体/EIA (Eプレート発研)	3.8 U/mL	(+)	B
ペプシノゲン I/LA (オートペプシノゲン)	44.2 ng/mL	(-)	
ペプシノゲン II/LA (オートペプシノゲン)	7.5 ng/mL		
ペプシノゲン I/II 比	5.9		

検査項目の()内は試薬名称です。

陽性判定基準

ヘリコバクター・ピロリ抗体	ペプシノゲン
3.0 U/mL以上	ペプシノゲンI値が70.0 ng/mL以下かつ ペプシノゲンI/II比が3.0以下

胃がんリスク層別化検査 ABC分類とは…

胃潰瘍・十二指腸潰瘍の主な原因と考えられているヘリコバクター・ピロリ菌の抗体価検査と胃粘膜萎縮(老化)マーカーのペプシノゲン検査とを組み合わせて、胃がんリスクをABCの3群に分類するのが胃がんリスク層別化検査ABC分類です。このABC分類を用いて、胃がんリスクに応じた検診間隔を設定し、効率的に検診を行う方法が胃がんリスク層別化検査です。
 ※ ABCDの4群に分類するABCD分類もあります。

<ABC分類に適さない方>

- ・胃の病気の治療中の方
- ・胃腸を抑える薬を服用中の方
- ・ヘリコバクター・ピロリ菌除菌治療を受けた方
- ・胃切除後の方
- ・腎不全の方

これらに該当する方は医療機関でご相談、ご相談ください。

ABC分類 (ABCD分類)	ヘリコバクター・ピロリ抗体価 検査	
	(-)	(+)
ペプシノゲン 検査	(-)	A
	(+)	D (C)

*印で示した分類があなたの検査結果です。

A群 おおむね健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。逆流性食道炎などピロリ菌に関連しない病気に注意しましょう。未感染の可能性が高いですが、一部にはピロリ菌の感染や感染の既往がある方が含まれます。一度は内視鏡検査などの精密検査を受けることが理想的です。

B群 * 少し弱った胃粘膜です。胃がいよう・十二指腸がいようなどに注意しましょう。胃がんのリスクもあります。内視鏡検査を受けましょう。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

C群 萎縮の進んだ弱った胃粘膜と考えられます。胃がんになりやすいタイプと考えられます。定期的な内視鏡検査をお勧めします。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

D群(C群) 萎縮が非常に進んだ胃粘膜と考えられます。胃がんなどの病気になるリスクがあります。ピロリ菌感染診断をお勧めします。かならず専門医療機関で内視鏡検査などの診断を受けてご相談ください。

E群 ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、経歴判定の結果に関わらず、E群(除菌群)として定期的な内視鏡検査を受けましょう。除菌により胃がんになるリスクは低くなりますが、決してゼロになるわけではありませんので、除菌後も内視鏡検査による経過観察が必要です。

ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査とは…

胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。ヘリコバクター・ピロリ菌は胃酸の分泌や胃粘膜の免疫能の働きが不十分な幼小児期(4~5歳)頃までに感染すると考えられています。子供の頃に感染しなかった場合、大人になってから感染することは稀だと言われています。

ペプシノゲン検査とは…

食べ物の消化に関与する「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を調べることで胃粘膜の萎縮(老化)の状態を客観的に調べる検査です。

(17/4)